

## 第11節 広報

これまで、県では三番瀬の自然や円卓会議の取組を幅広く県民に知らせるため、「ちば県民だより」等、既存の広報媒体を使った広報のほか、NPO等の参加や協力を得ながら、新たな広報手段としてインターネットの活用や広報拠点の設置、シンポジウム等の開催等を行ってきました。

三番瀬の再生・保全には息の長い取組が必要であることから、次代を担う子供たちも含めて県民や地域住民の三番瀬の再生への関心・理解を深めるとともに、県民参加による三番瀬の再生・保全を進めていくことが重要です。また、国際化時代を踏まえて外国の方々にもわかりやすい広報の工夫も必要です。

そのため、地域住民の参加や地域活動の推進、情報の公開とわかりやすい情報の提供や三番瀬を知り、触れ合う機会の提供等に幅広く継続的に取り組み、県民を惹きつける魅力ある広報を目指します。



図2-11-1 三番瀬サテライトオフィス



図2-11-2 三番瀬フェスタ2006  
市川塩浜 - 感じよう！三番瀬。 -  
(平成18年8月19日)



図2-11-3 三番瀬フェスタ2005  
「東京湾・三番瀬の再生をみんなで考えよう」(平成17年12月11日)(三番瀬フェスタ実行委員会提供)



図2-11-4 三番瀬フェスタ2004  
三番瀬みなとまつり(平成16年9月18日)  
(前川清氏提供)